

開催のご案内

独立行政法人工業所有権情報・研修館は、特許流通促進事業の一環として、特許流通マインドの向上と知的財産権取引環境の整備・育成支援を目的とした国際特許流通セミナーを開催しております。

セミナーでは、海外で活躍する技術移転のプロフェッショナルの方々や、我が国の第一線で活躍されている関係者の方々による講演、パネルディスカッション等を行います。

技術移転におけるグローバルな考え方を習得する場であるだけでなく、内外の技術移転関係者とのネットワーク形成の場としてご利用いただけます。

昨年も、連日1,000名を超える多くの参加を得ており、今年度も国際ライセンス協会 (LESI) 会長、米国大学技術管理者協会 (AUTM) 会長といった著名な方々の講演を予定しております。

特別講演 I (1月22日)



ジョン・フレーザー 氏  
米国大学技術管理者協会 (AUTM) 会長

フレーザー氏はフロリダ州タラハシー市にあるフロリダ州立大の知的財産活用・商業化オフィスの所長を務めている。タラハシー地域・技術協会の設立メンバーの一人であり、フロリダ州経済をよりよくするため州知事からフロリダ州研究コンソーシアムの設立メンバーにも任命されている。科学者や技術者が会社をスタートアップするためのビジネスプラン作成を手助けするジョン・ホプキンス大の技術移転プログラムにも関わっている。2006年には、州全体のバイオ技術移転組合であるバイオフロリダの理事にわり、国際的な大学技術移転の専門家協会である米国大学技術管理者協会 (AUTM) の会長に就任した。カリフォルニア大バークレイ校の生化学の修士号を取得している。

特別講演 II (1月23日)



ロナルド・グルージェットスキー 氏  
国際ライセンス協会 (LESI) 会長、弁護士

グルージェットスキー氏は特許審査官を経て、訴訟関係、ライセンスニング及び知財コンサルタントとして30年以上にわたる知財経歴を有している。米・ワシントンにあるジョージタウン大のローセンターで20年以上、特許法について教鞭をとっていた。法学士だけでなく、メリーランド大の化学工学科の冶金学士も取得している。ライセンス協会では、ここ20年以上にわたり熱心に活動し、1999-2000年のアメリカ・カナダライセンス協会会長を始め、多くの要職を務め、現在は国際ライセンス協会の会長である。

お申し込み方法を含む詳細はウェブサイトにてご確認ください

[http://www.ryutu.ncipi.go.jp/seminar\\_a/index](http://www.ryutu.ncipi.go.jp/seminar_a/index)

同時開催イベント

1月23日(火) 平成18年度 第3回特許ビジネス市

交流会のお知らせ

以下の要領にて、交流会を開催します。国内外の講師及び一般参加者間の交流の場となりますので奮ってご参加下さい。

日時:2007年1月22日(月) 17:00~18:30

場所:ホテル日航東京1階「オリオン」

参加費: 3,000円/人(定員150名)

[http://www.ryutu.ncipi.go.jp/seminar\\_a/index.html](http://www.ryutu.ncipi.go.jp/seminar_a/index.html)

お申込は、同封の「交流会参加申込書」又は上記ホームページにてお願いいたします。定員となり次第、締切とさせていただきます。参加票の送付から2週間以内に参加費の振込みをお願いします。

会場へのアクセス



東京臨海新交通「ゆりかもめ」JR新橋駅より約15分の台場駅直結  
東京臨海高速鉄道「りんかい線」東京テレポート駅から徒歩約10分

お申込方法

1.ホームページ

下記の国際特許流通セミナーホームページにてお申込みください。

[http://www.ryutu.ncipi.go.jp/seminar\\_a/index.html](http://www.ryutu.ncipi.go.jp/seminar_a/index.html)

2.FAX

同封のセミナー参加申込書にご記入の上、国際特許流通セミナー事務局宛にFAXにてお申込み下さい。

お申込み受付は先着順とさせていただきます。

国際特許  
流通セミナー  
2007

International Patent  
Licensing Seminar 2007

IP市場の創設  
Business Creation with IP

2007.  
1/22日-1/23日

ホテル日航東京 (東京・台場)  
参加料無料 (事前登録制)

主 催	独立行政法人 工業所有権情報・研修館
後 援	文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁護士連合会、日本弁理士会 日本知的財産協会、日本ライセンス協会、日本知的財産戦略協議会 大学技術移転協議会、米国大学技術管理者協会 (AUTM) 読売新聞社、日本経済新聞社、フジサンケイビジネスアイ (予定)
実 施	社団法人 発明協会 国際特許流通セミナー事務局 Tel:03-5402-8434 Fax:03-5402-8438
言 語	日本語・英語 (同時通訳あり)

オープニングフォーラム (1月22日)



西澤 昭夫 氏  
東北大学大学院経済学研究科  
教授

1982年より1993年迄日本合同ファイナンス株式会社 (ジャフコ) 勤務後、敬和学園大学人文学部助教授を経て、1997年より現職。同大学未来科学技術共同研究センター副センター長、株式会社東北テクノアーチ取締役を兼務。日本ベンチャー学会理事、研究・技術計画学会理事等を歴任。



久慈 直登 氏  
本田技研工業株式会社  
知的財産部長

1977年に大学院の修士課程終了後、本田技研工業株式会社に入社し、株式会社本田技術研究所に配属になる。1996年に本田技研工業株式会社に異動し、2001年4月知的財産部長就任、現在に至る。対外的な役職としては、2005年度日本知的財産協会理事長のほか、2006年度は経済産業省模倣品対策・通商室アドバイザー・コミッティー委員、国際知的財産保護フォーラム企画委員長など。



秋元 浩 氏  
武田薬品工業株式会社  
常務取締役

武田薬品工業 (株) 常務取締役。1941年生まれ。1970年東京大学薬学系研究科博士課程修了。ペンシルヴェニア大学化学学科研究員を経て1972年武田薬品 (株) 入社。創業の研究 (抗生物質、がん領域) に従事後、1994年から同社知的財産部長。2003年常務取締役に就任、現在に至る。総合科学技術会議知的財専門調査会委員他 多くの外部団体委員を歴任。



宗定 勇 氏  
日本知的財産協会  
専務理事

京都大学法学部卒業 (1966)。三菱化成工業 (現三菱化学) 入社、特許部配属 (1966)。同社知的財産部長就任 (1996)。同社執行役員就任 (2001)。2003年より現職。日本知的財産協会副理事長 (2001-2002) 等歴任。



国際特許流通セミナー2007 プログラム

会場		トラック A	トラック B	トラック C
1/22 (月)	<div>午前</div> 9:40-11:40	・開会挨拶：清水 勇（（独）工業所有権情報・研修館 理事長）／特許庁長官挨拶 ・特別講演Ⅰ：「産学技術移転～その本来の価値実現のために～」 ジョン・フレーザー（米国大学技術管理者協会（AUTM）会長） ・オープニングフォーラム：「グローバル市場経済における海外特許戦略の方向」 出演者：西澤 昭夫（東北大学大学院経済学研究科 教授）、 久慈 直登（本田技研工業（株）知的財産部長）、 秋元 浩（武田薬品工業（株）常務取締役）、 司会：宗定 勇（本知的財産協会 専務理事）		
	<div>午後1</div> 13:00-14:40	<b>【A1】 産学連携はどう進んだか～産学連携のグローバルコンペ～</b> オープンイノベーション化が叫ばれ、企業活動がグローバル化している中、我が国の産学連携への大学の寄与は充分といえない状況である。本セッションでは、日英の先進的大学と企業の研究企画責任者から、国際産学連携に関する現状と将来展望を議論する。 モデレーター：清水 勇（（独）工業所有権情報・研修館 理事長） パネリスト：ウィリアム・ミルン（ケンブリッジ大電気工学科 主任教授） 松重 和美（京都大学 副学長） 中川 泰夫（（株）日立製作所 研究開発本部 技師長兼研究アライアンス室長）	<b>【B1】 MOCK～契約交渉ネゴシエーション～</b> 一昨年度からの契約模擬交渉シリーズの三回目。今回は、日本の小企業のもつ注目技術の特許を米国大手企業に譲渡する契約交渉を再現する。ポイントは、日米での契約成立要件の違いと規定解釈をめぐる不一致。3部構成のセッションで、第1部が模擬交渉、第2部が模擬交渉のモデルとなった谷啓製作所の谷内会長からご自身の体験談を含めた講演、第3部がセッション参加者による交渉ポイントの解説と質疑応答。 モデレーター：藤野 仁三（東京理科大専門職大学院知的財産戦略専攻 教授） パネリスト：マシュー・バーガー（モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所 パートナー、米・CA州弁護士） マイケル・ダンスキー（ヒューロンコンサルティンググループ マネージング・ディレクター） 原嶋 克巳（富士ゼロックス（株）知的財産権センター シニア ライセンス エグゼクティブ） 牧 虎彦（月島機械（株）執行役員、法務部長） 谷内 啓二（（有）谷啓製作所 代表取締役）	<b>【C1】 特許侵害・特許ライセンスに対する企業戦略</b> 事業に直接影響する可能性の高い特許侵害への対応は、非常に重要な課題であり、プロパテント化の中で、自社が当事者となる可能性が増している。このような環境下で、特許侵害を前提とする特許ライセンスをどのように行なうべきか、また、自社事業をどのように防衛すべきか等について議論する。 モデレーター：吉野 仁之（Japan IP Network（株）代表取締役） パネリスト：ジェラルド・エーメン（パテント・ソリューションズ社 社長） 岡本 清秀（日本ライセンス協会 会長/オムロン（株）経営企画室 知的財産担当顧問） 徳田 佳昭（パナソニックモバイルコミュニケーションズ（株）知的財産権センター 所長、弁理士）
	<div>午後2</div> 15:00-16:40	<b>【A2】 バイドール法25年の成果及び総括～米国産学技術移転の現状と将来～</b> バイドル法により、米では、産学技術移転が進み新産業が創出され、90年代以降の経済成長がもたらされた。しかし、制定から四半世紀を経て、同法見直し論がおきている。この背景を分析したウォシュバーン女史とAUTM会長を招き、同法が果たした役割、問題点、今後の展望等を踏まえ、望ましい産学技術移転のあり方を探る。 モデレーター：西澤 昭夫（東北大学大学院経済学研究科 教授） パネリスト：ジョン・フレーザー（米国大学技術管理者協会（AUTM）会長） ジェニファー・ウォシュバーン（新アメリカ財団 フェロー）		
	17:00-18:30	交流会		
1/23 (火)	<div>午前</div> 9:45-10:15	・特別講演Ⅱ：「米国における特許関連法曹界の最新動向」 ロナルド・グルージェットスキー（国際ライセンス協会（LESI）会長）		
	<div>午前</div> 10:30-12:10	<b>【A3】 我が国におけるマーケティングのベストプラクティス</b> 技術移転ビジネスは、ここ数年で我が国にも定着しつつあるが、マーケティング手法については、属人的な要素が強く、そのノウハウに関して議論し学ぶ場は少ない。今回は、技術移転の先駆者から実例を中心に語ってもらい、参加者の参考にしてもらう。 モデレーター：山本 貴史（（株）東京大学TLO 代表取締役社長兼CEO） パネリスト：原 豊（（株）リクルートテクノロジー・マネジメント開発室 チーフアソシエイト） 梶原 淳治（大阪府立特許情報センター 特許流通アドバイザー） 平田 徳宏（九州大学知的財産本部技術移転部門 講師）	<b>【B2】 知財戦略と経営戦略～年商100億円事業に向けて構築すべき知財戦略とは～</b> 製品売上が年商20億円を越えと、損害賠償額が特許訴訟に見合うため、知財リスクが高まると言われている。しかし知財戦略は一日にしてならず。事業規模100億円と いう夢のラインをリスクなく目指すため、年商10億円から用意すべき知財戦略を論じる。 モデレーター：鮫島 正洋（内田・鮫島法律事務所 弁護士・弁理士） パネリスト：井上 善雄（（株）巴川製紙所 取締役社長） 宮坂 四志男（（株）不二機販 代表取締役） 塚越 雅信（インクタンク・ジャパン（株） 代表取締役社長）	<b>【C3】 米国における最近の特許判決を含むIP法の重要な変化と実務への影響</b> 最近の米国における特許法や出願手続の重要な変化・変更の提案、重要判例に見る侵害事件やライセンス契約実務に与える影響の解説・討論と、日本企業・大学に対する助言。差止に関するEbay caseなど重要判例と関連判例の紹介、その方向性、日本への影響、日米実務の比較等。 モデレーター：福田 親男（LESI次期会長/福田・近藤法律事務所 弁護士） パネリスト：ロナルド・グルージェットスキー（国際ライセンス協会（LESI）会長） 熊倉 禎男（中村合同特許法律事務所 代表パートナー、弁護士・弁理士） 松尾 悟（モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所 米・NY州弁護士）
	<div>午後1</div> 13:10-14:50	<b>【A4】 大学TLO活動がもたらしたもの～日本の大学TLO活動の総括～</b> TLOの草分けで、現役でご活躍中の方、海外との比較の視点で見たTLO活動を語れる方、ジャーナリズムの視点から語れる方など、多様な視点から評価を行えるメンバーをパネリストに迎え、日本の大学TLO活動について、その活動の総括を行い将来への展望を議論する。 モデレーター：渡部 俊也（東京大学国際・産学共同研究センター 副センター長、教授） パネリスト：三木 俊克（（有）山口TLO 取締役/山口大学工学部 教授） ロバート・ケネラー（東京大学先端科学技術研究センター 教授） 西村 吉雄（東京工業大学 監事）	<b>【B3】 特許侵害紛争ADRシミュレーション</b> 日本知的財産仲裁センターにおける特許権侵害調停事件の申立代理人・被申立代理人・調停人・事件管理者の各経験者をパネリストとして、仮想侵害事件を通じて、知財ADRの実務を紹介すると共に知財紛争解決にADRを利用することの意義等について検討する。 モデレーター：山崎 順一（日本知的財産仲裁センター 運営委員長/三宅・山崎法律事務所 パートナー、弁護士・弁理士） パネリスト：美勢 克彦（松本・美勢・秋山法律特許事務所 弁護士） 玉真 正美（協和特許法律事務所 常任顧問、弁理士） 大川 宏（総合法律事務所あおぞら 弁護士） 林 いづみ（永代総合法律事務所 弁護士） 小林 純子（日本知的財産仲裁センター 副センター長/阿部・井窪・片山法律事務所 パートナー、弁理士）	<b>【C4】 やさしい知財会計～投資家の視点を探る～</b> 無形資産である知財の評価は難しいが、投資家の企業分析で知財の重要性が増している。知財情報開示が求められる理由、アナリストや投資家が知財の価値を分析する方法、知財評価のための「知財会計」のあり方などを、会計税務を踏まえてわかりやすく説明する。 モデレーター：佐藤 淑子（日本インベスター・リレーションズ協議会 首席研究員） パネリスト：石井 誠（みずす監査法人知的財産室 パートナー、公認会計士） 若林 秀樹（フィノウェイブ インベストメンツ（株）取締役社長）
	<div>午後2</div> 15:10-16:50	<b>【A5】 産学技術移転における利益相反マネジメント</b> 大学・公的研究機関から企業等への技術移転ならびに役員等の兼業・株式等の保有に伴い、教職員さらには機関自体に潜在的に利益相反が生じ、こうした状況への適切なマネジメントが不可欠である。国内外の現状や先進的な取り組みに関して情報を共有し、課題について議論する。 モデレーター：伊地知 寛博（一橋大学イノベーション研究センター 助教授） パネリスト：西尾 好司（（株）富士通総研 上級研究員） 平井 昭光（レックスウエル法律特許事務所 所長、弁護士・弁理士） 向坪 均（（独）産業技術総合研究所 法務室長）	<b>【C5】 アジア地域における技術移転支援活動の現状と問題点</b> アジアにおける技術移転のあり方を探るシリーズの一回目。日中韓に焦点をあて、各国の 支援策を紹介し、現状及び問題点を明らかにする。さらに、将来のアジアをにらみ、国際間の技術移転への取り組みや、必要とされる支援策について議論する。 モデレーター：植村 昭三（東京大学先端科学技術研究センター 客員教授） パネリスト：田中 義敏（東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 助教授） 金 東燮（KTTC技術評価本部 本部長） 陳 乃蔚（復旦大学法学院 教授、知的財産権研究センター副主任）	